令和6年度

議会報特別委員会

行政視察報告書

【視察期間】　　令和6年 10 月 28 日

【視察先及び視察テーマ】

・仁木町

『全国町村議会広報表彰受賞について』

『編集のコンセプトについて』

【参加委員】

委員長	川村　幸栄
副委員長	高橋　伸典
委　員	今村　芳彦
	谷　　聡
	水間　健詞
	山崎真由美
	中畠　孝幸

１０月２８日、議会報特別委員会は仁木町議会で議会だよりの編集にかかわって行政視察を行わせていただきました。

仁木町議会が発行している「議会だより」は全国町村議会「議会だよりコンクール」にほぼ毎年のように応募し、優秀な成績を収めています。

８年前にも視察させていただいた経緯があります。写真の活用方法、空間の活用など突出した編集の取り組みに圧倒されながら学ばせていただきました。議会事務局の職員が専任で編集作業を行っていることなど大きな差はありましたが、学ぶところの多い視察でした。

仁木町議会

今回、委員会のメンバーも入れ代わり、改めて仁木町議会の議会だよりの編集にかかわって直にお話を聞かせていただく機会にしたいと思い、視察させていただきました。

編集の基本的な考え方は、私たち名寄市議会と同様に住民の皆さんに手に取っていただける議会だよりを目指しています。全議員が広報委員となり、欠員になった際にも対応できるようにしたとのことです。事務局に依存しているところは大きく変わりはないようでしたが、前回伺った時点より議員のかかわりを増やしているように感じました。

委員からは「写真にこだわり、写真を有効に使い、文字より写真で伝える工夫がされている」、「町民登場の紙面づくりに工夫を凝らし、地域住民の方々を主役にして住民に読まれる議会だよりとなっている」、「速報性のある『ぷち通信』を発行（新聞折り込み）するなど、メリハリのある広報活動を行っている」などの感想が出され、今後についても「視察したところの良いところを一つでも反映させることが必要」、「大幅な変更も視野に、つい手に取ってしまう議会だよりを目指し

たい」との意見が出されています。
　市民に気軽に手にしてもらえる、議会が身近に感じてもらえる「議会だより」を目指してさらに取り組みを進めたいと思います。

　以上、議会報特別委員会の視察報告といたします。